

## 十和田の火山活動解説資料（平成 29 年 12 月）

仙 台 管 区 気 象 台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 1）

銀山に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図 2）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図 3、図 5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

---

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ ([http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成30年1月分）は平成30年2月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び青森県のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。



図 1 十和田 中湖周辺の状況 (12 月 21 日)  
・ 銀山 (中湖の北西約 6 km) に設置している監視カメラの映像です。

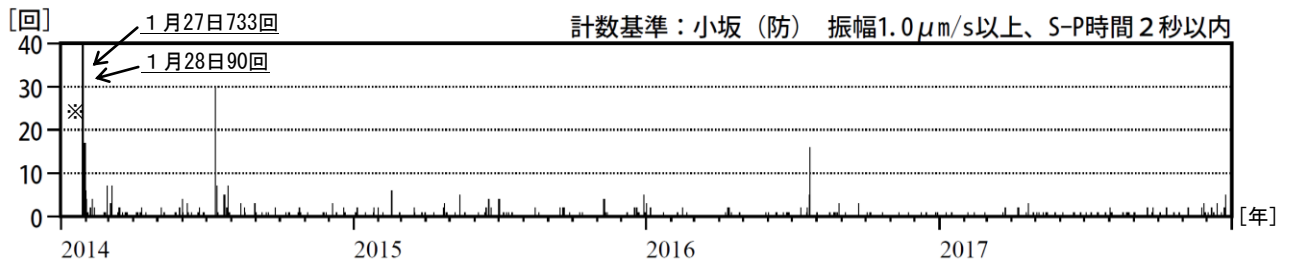


図 2 十和田 日別地震回数 (2014 年 1 月～2017 年 12 月)  
※2014 年 1 月 27 日より計数を開始しました。

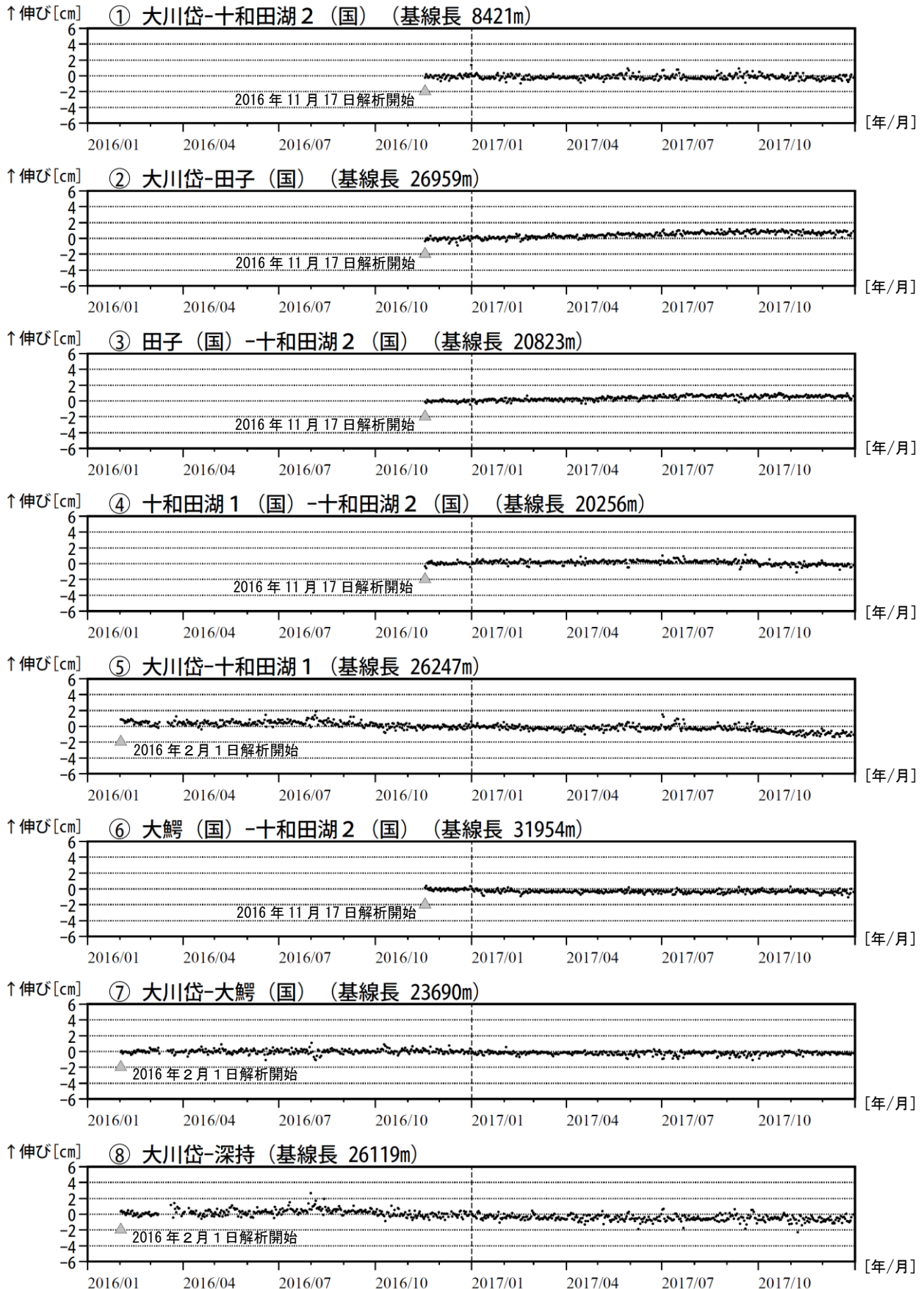


図3 十和田 GNSS<sup>1)</sup> 基線長変化図 (2016年2月~2017年12月)

- ・空白部分は欠測を示します。
  - ・①~⑧は図5のGNSS基線①~⑧に対応しています。
  - ・(国)は国土地理院の観測点を示します。
  - ・大川岱観測点及び深持観測点は2016年12月1日に運用を開始しています。
  - ・2017年1月以降のデータについては、解析方法を変更しています。
- 1) GNSSとはGlobal Navigation Satellite Systemsの略称で、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示します。

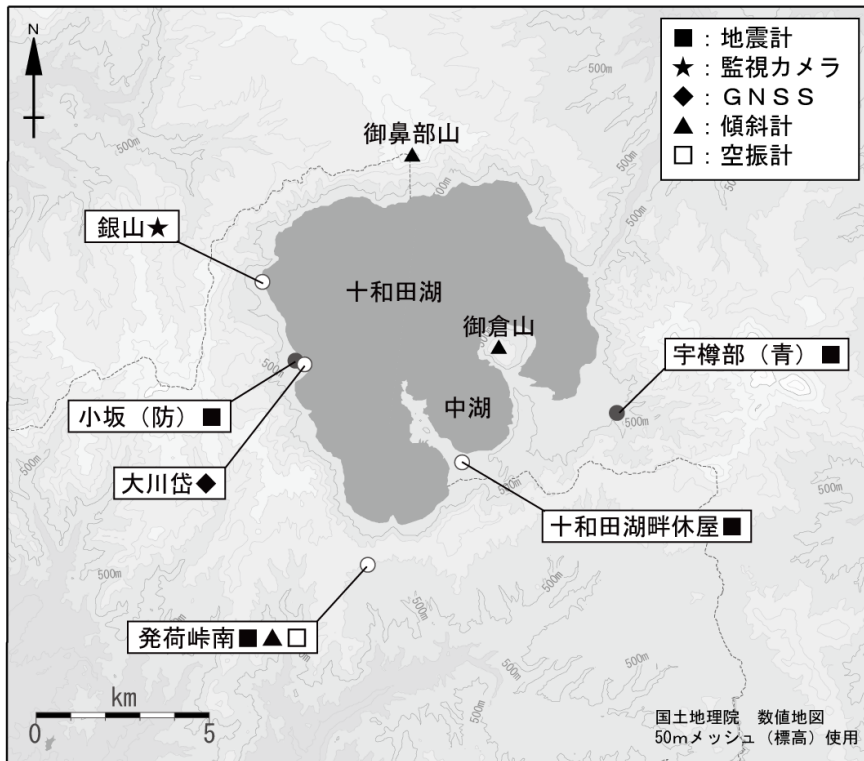


図4 十和田 観測点配置図

・小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (防) : 防災科学技術研究所 (青) : 青森県

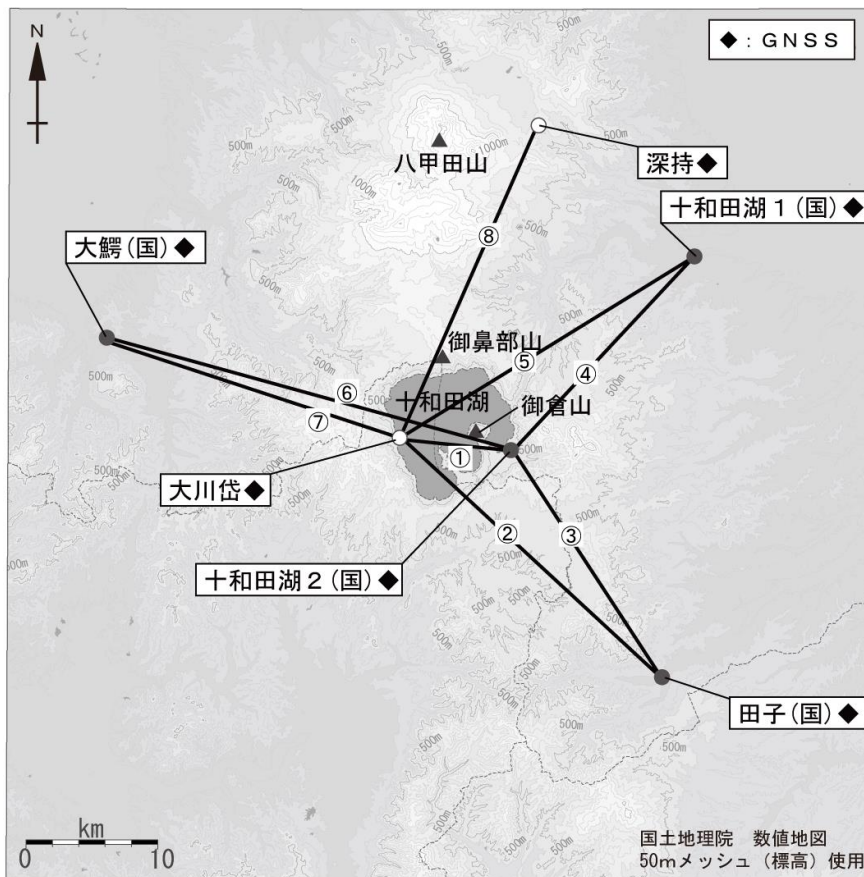


図5 十和田 GNSS 観測点配置図

・小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院